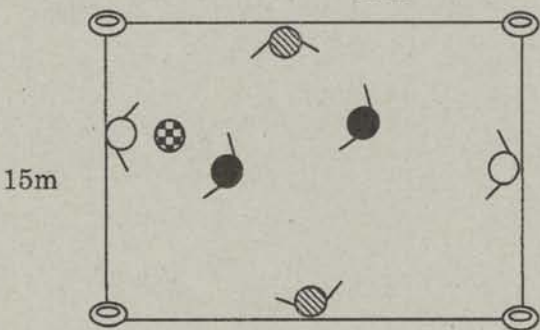
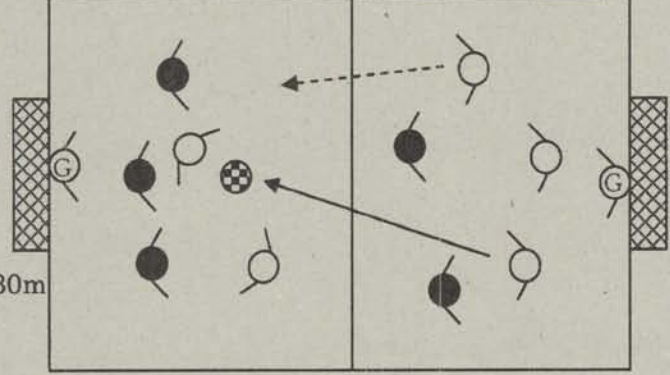
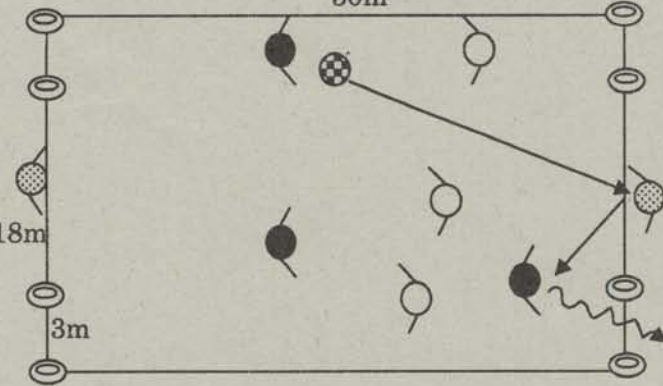
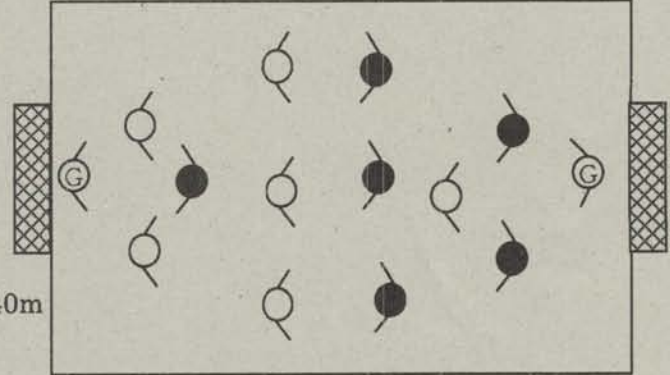


《 26年度 神戸市 FA コーチングスクール 》

日時	2014年11月14日(金)	場所	磯上グラウンド
テーマ	守備から攻撃への切り替え	氏名	石田 卓也

指導方法

<p>W-UP 4対2(2対2対2)</p> <p>15m</p>  <p>15m</p> <p><方法> 3色のピブスのうち1色がDF。ボールを奪ったら、奪われた色がDFになる。 2タッチ以下。 <オプション> ・ダイレクト ・2タッチのみ <キーファクター> アプローチ 攻守の切り替え コミュニケーション 身体の向き</p>	<p>TR 2 5対5+GK</p> <p>45m</p>  <p>30m</p> <p><方法> 基本は各チームOFコートに2人、DFコートに3人。ボールをOFコートに運ぶと攻撃側はDFコートから1人攻撃参加。DFコートからドリブルで攻撃参加も可。 <オプション> ・セパレートなしで5対5+GK <キーファクター> アプローチ コーチング 攻守の切り替え 予測 サポートの質</p>
<p>TR 1 3対3+2サーバー</p> <p>30m</p>  <p>18m</p> <p>3m</p> <p>相手側のサーバーにくさびを当ててサーバーからのパスを受けてドリブル突破で1点。味方側のサーバーは使えない。相手側のサーバーは2タッチ以内。 <オプション> ・サーバーはダイレクトのみ ・サーバーを使わずにドリブル突破も可 <キーファクター> アプローチ 攻守の切り替え 予測(オフザボールのポジショニング) サポートの質 攻撃の優先順位</p>	<p>ゲーム 6対6+GK</p> <p>55m</p>  <p>40m</p> <p><キーファクター> コーチング アプローチ 守備の運動 攻守の切り替え 予測 サポートの質</p>

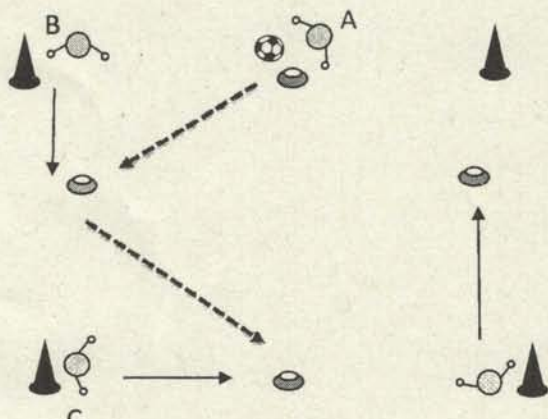
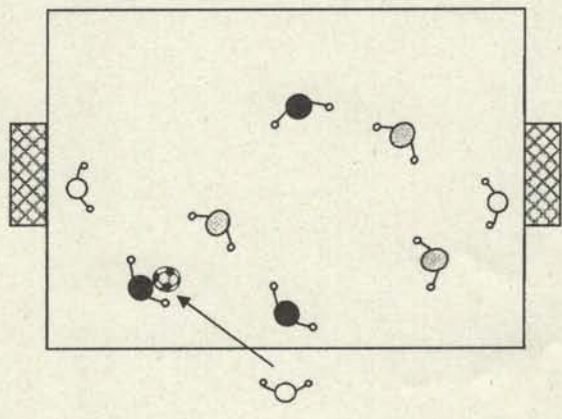
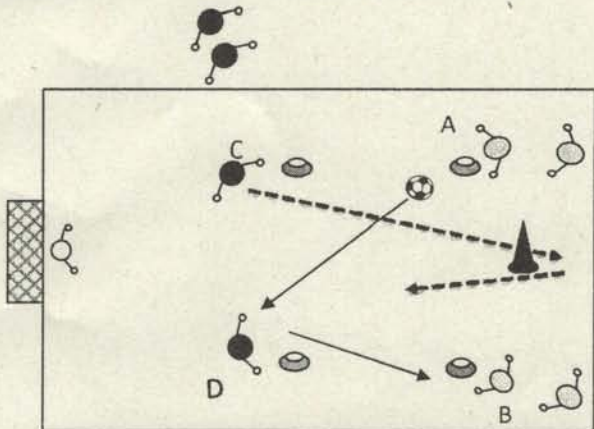
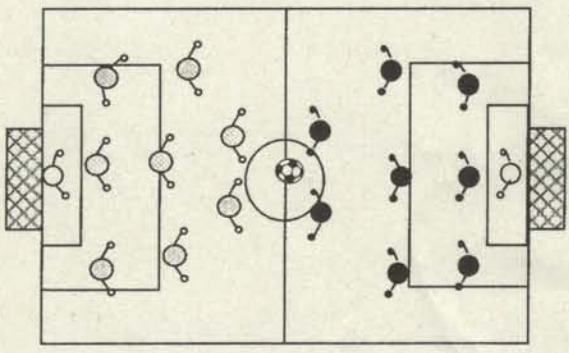
KEY FACTOR

1. 攻守の切り替え
2. 予測
3. サポートの質
4. 攻撃の優先順位
5. アプローチ

【指導案】

日時	2014.11.14(金)	担当	谷 潤一
テーマ	アタッキングサードでの1対1の攻撃		トレセンコーチングスクール

【内容】

<p>W-UP <u>パス&コントロール</u></p>  <p>1. AからBへパスを出す。AはBの場所へと移動する。 2. Bはコーンをスタート地とし、マーカーでボールと出会う。その後Cへとパスを出す。 ○ 動きながらコントロール。 ○ 正確にパスを出せる場所へボールを置く</p>	<p>TR2 <u>3対3のシュートゲーム(2GK)</u></p>  <p>○ パスの受け手はシュートを意識した体の向きで受ける。 ○ ファーストタッチでかわす事が出来れば積極的にシュート。 ○ フィニッシュのために「現われる」動きを入れる。</p>
<p>TR1 <u>2対1からのシュートドリル</u></p>  <p>1. OFがDFにパス、DFはパスを返すと同時にアプローチをかけて守備パスを受けなかったもう1人のDFはコーンをまわって守備に入る。 2. 攻撃はA・Bの二人で行う。 ○ 攻撃側はまずは仕掛けることをファーストチョイスとさせる。仕掛けることで相手DFがひきつけられ、空いてくるスペースが出来ることを理解させる。</p>	<p>GAME <u>8対8 2GK</u></p> 

Key Factor

1. ボールを受けるときの体の向き
2. ファーストタッチの質
3. スペースを作る。スペースに入る。
4. 間接的な仕掛け(DFを変化させる動き)
 オフザボールの良い準備